

Case Study

支部ケース・スタディ

東海支部

「スーパーキッズダンスコンテスト」 三重予選開催!

三重県ケーブルテレビ協議会

制作委員会 委員長
(株)ラッキータウンテレビ 常務執行役員

近藤 均



「スーパーキッズダンスコンテスト2017」三重予選初開催!

三重県は南北の長さが180kmに及び、縦に長い面積を持ち、鈴鹿山脈に代表される山々や、太平洋にのぞむ伊勢湾を要したさまざまな地形を有しています。

また、北は名古屋圏、西は関西圏に隣接しており、その文化もまた多様な面を持っており、近年は観光地としても人気を集めています。

そんな三重県ですが、ケーブルテレビのカバー率は100%。県内29の市町村を全8局で網羅しており、横のつながりも盛んで、三重県ケーブルテレビ協議会では、営業や番組制作、技術や防災などのテーマを中心とした情報交換や共同イベントなどを行なっています。

三重県ケーブルテレビ協議会では、ダンスチャンネル様と協力し、子どもたちに感動の舞台と夢を与えようと「スーパーキッズダンスコンテスト2017」三重予選を開催させていただきました。県内外からたくさんのチームが参加し、熱いダンスバトルを繰り広げてくれました。



アーケード街に作られた特設ステージには、大勢の観客が集まった



急増！キッズダンス人口！

2012年から中学校の必修科目に導入されるようになったストリートダンス。それらの影響もあり、キッズダンス人口は日本国内で400万人を超えたといわれ、その実力は世界一とも言われるほどだそうです。数あるキッズダンスの大会の中でも、「ALL JAPAN SUPER KID DANCE CONTEST」は日本最大規模、最高レベルの大会として注目を集め、地方予選を勝ち抜いたチームだけが全国大会に出場できるという、キッズダンサー夢の舞台・目標となっていると言っても過言ではありません。

われわれケーブルテレビでは、初の三重予選ということで大会告知CMやポスター・チラシの配布、HPでの告知、地元のダンススクールへ大会参加を呼びかけるなどして、コンテストを盛り上げよう取り組みました。その結果、県内だけでなく全国から参加応募の問い合わせをいただくことができました。

白熱したダンスバトル！

大会は四日市市の諏訪アーケード街で行われ、小学校部門：20組、中学校部門：24組が参加。日本全国から参加チームが集まった当日は、衣装をまとったキッズダンサーやその保護者の方々が早朝より会場に来てくださいました。

大会が始まると、それぞれのチームが素晴らしいダンスを披露！この日のために一生懸命練習を重ねてきたことはもちろん、自分たちで楽曲選曲や衣装づくりなどをしてきたチームもあって、ダンスを披露した直後に涙ぐむチームもあり、本当にこの日にかけてきたという子どもたちの熱い想いが伝わってきました。また、アーケード街に作られた特設ステージは、道ゆく人の注目も集め、たくさんの方が足を止めて見てくださり、観客からは手拍子や拍手が送られていました。

コンテストの最後には結果発表が行われ、全国大会への切符を手にしたチームは、メンバー同士で涙を流しながら抱き合い、保護者の方と喜びを分かち合いながら、感謝の気持ちを伝えていました。また、残念ながら悔しい結果となったチームは、涙を流しながら励まし合う姿も見られ、真剣だからこそ垣間見える感動が会場を包んでいました。



大会放送告知用のポスター



練習を積んできた子どもたちが、レベルの高いダンスを披露

三重予選の様子は県内全8局で放送

この三重予選の様子は収録・編集を行い、後日、県内全8局のコミュニティチャンネルにて放送しました。当日も盛況いただいたイベントでしたが、後日、放送を見た地元のダンス教室様等からは「レベルの高さに驚いた。生徒たちも出場してみたいと言っている。来年は出場できる子どもたちを育てたい」などのお声をいただきました。

三重県ケーブルテレビ協議会では、以前にも「歌王みえ」というカラオケ大会を全8局とNHK様協力のもと開催し、ケーブルテレビの横連携をより深めてきました。「スーパーキッズダンスコンテスト2017」三重予選では、子どもたちが驚くほどの練習を積んで仲間と目指す夢の舞台の一つをご提供させていただいたと考えております。キラキラした笑顔が、人を惹きつけられないわけがありません。

今後も三重県は各局での取り組みだけでなく、オールケーブルでの連携を強め、地域に愛されるケーブルテレビとして、さまざまな活動を行なっていきたいと考えております。



パフォーマンスの収録やインタビューを行い、後日、三重県内全8局のコミュニティチャンネルで放送



計44組のダンスチームの中から選ばれた3チーム(優勝・準優勝・第3位)